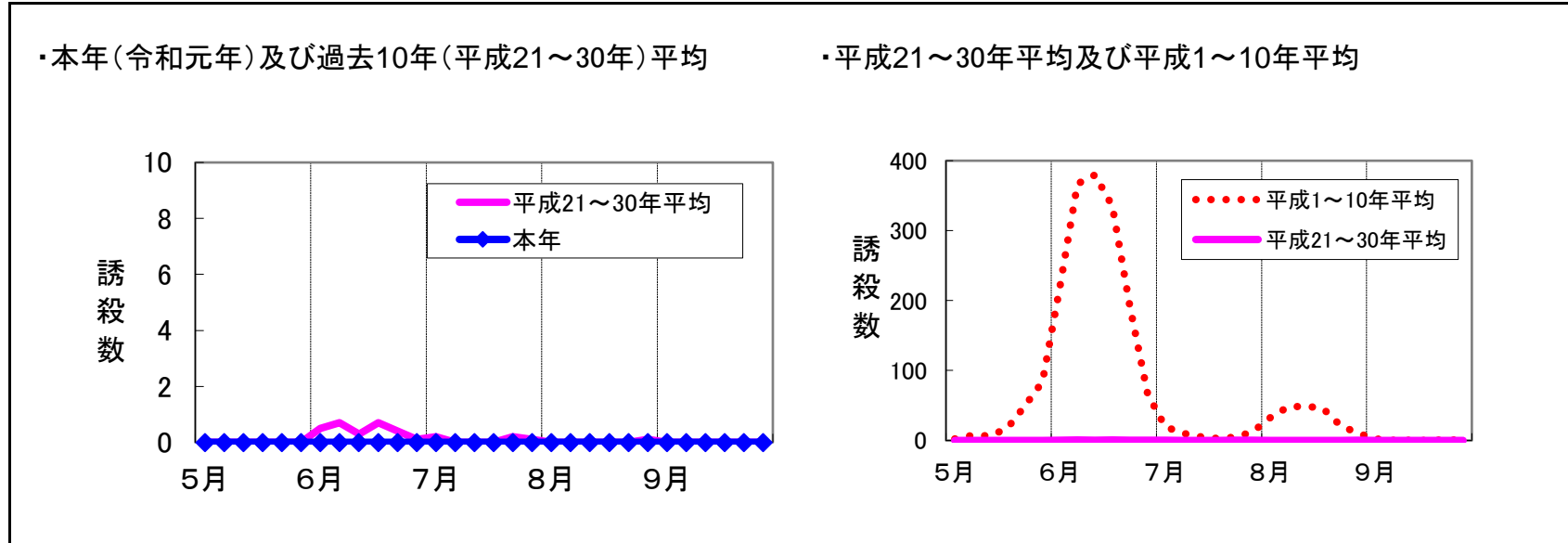


フェロモントラップによるニカメイガ雄成虫の誘殺消長

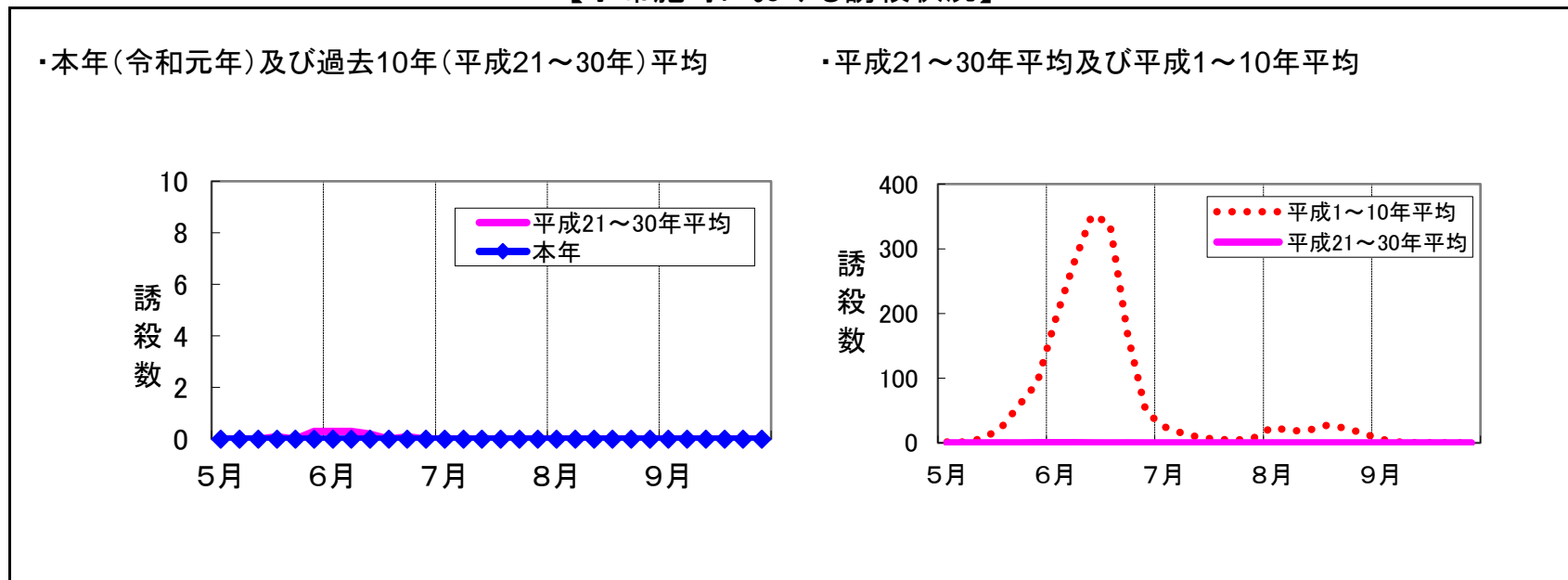
【令和元年(2019年)】

※須坂市小河原(農業試験場調査)、小布施町(病害虫防除所調査)において5月～9月まで半月ごと誘殺数をカウント。フェロモントラップの種類はファネル式トラップ使用。

【須坂市小河原における誘殺状況】



【小布施町における誘殺状況】



(参考)

1 発生生態

本県におけるニカメイガの発生は、年2回の地域と年1回の地域があります。成虫の発生時期は地域によって異なります。北信の常発地帯では、越冬世代は平年では5月中旬頃から発生し6月上旬に発生の最盛期となります。

上のグラフは雌の性フェロモンに呼び寄せられた雄の成虫数です。

2 防除時期

- (1) 多発地域では稈の太い品種の栽培をさけてください。
- (2) ニカメイガに効果の高い苗箱施薬を使用してください。
- (3) 第1世代幼虫の防除は6月下旬頃、第2世代幼虫の防除は8月上旬頃です。